

公認心理師受験資格(履修科目)確認シート

法第7条第1号及び第2号の省令で定める科目		大学における必要な科目に含まれる事項	大学で履修した相当する科目	該当可否
修める必要のない科目	①公認心理師の職責	1. 公認心理師の役割 2. 公認心理師の法的義務及び倫理 3. 心理に関する支援を要する者等の安全の確保 4. 情報の適切な取扱い 5. 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務 6. 自己課題発見・解決能力 7. 生涯学習への準備 8. 多職種連携及び地域連携		※受験資格の履修数には含まれない
	②③関係行政論	1. 保健医療分野に関する法律、制度 2. 福祉分野に関する法律、制度 3. 教育分野に関する法律、制度 4. 司法・犯罪分野に関する法律、制度 5. 産業・労働分野に関する法律、制度		
心理学基礎科目	I (3科目以上)	②心理学概論	1. 心理学の成り立ち 2. 人の心の基本的な仕組み及び働き	3科目以上のうち履修数()可・否
		③臨床心理学概論	1. 臨床心理学の成り立ち 2. 臨床心理学の代表的な理論	
		④心理学研究法	1. 心理学における実証的研究法(量的研究及び質的研究) 2. データを用いた実証的な思考方法 3. 研究における倫理	
		⑤心理学統計法	1. 心理学で用いられる統計手法 2. 統計に関する基礎的な知識	
		⑥心理学実験	1. 実験の計画立案 2. 統計に関する基礎的な知識	
心理学の基本的理論に関する科目(基礎心理学)	II (4科目以上)	⑦知覚・認知心理学	1. 人の感覚・知覚等の機序及びその障害 2. 人の認知・思考等の機序及びその障害	4科目以上のうち履修数()可・否
		⑧学習・言語心理学	1. 人の行動が変化する過程 2. 言語の習得における機序	
		⑨感情・人格心理学	1. 感情に関する理論及び感情喚起の機序 2. 感情が行動に及ぼす影響 3. 人格の概念及び形成過程 4. 人格の類型、特性等	
		⑩神経・生理心理学	1. 脳神経系の構造及び機能 2. 記憶、感情等の生理学的反応の機序 3. 高次脳機能障害の概要	
		⑪社会・集団・家族心理学	1. 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 2. 人の態度及び行動 3. 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響	
		⑫発達心理学	1. 認知機能の発達及び感情・社会性の発達 2. 自己と他者の関係の在り方と心理的発達 3. 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 4. 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 5. 高齢者の心理	
		⑬障害者(児)心理学	1. 身体障害、知的障害及び精神障害の概要 2. 障害者(児)の心理社会的課題及び必要な支援	
心理状態の観察及び分析並びに心理に関する相談、助言、指導その他の援助等についての基本的理論	III (2科目以上)	⑭心理的アセスメント	1. 心理的アセスメントの目的及び倫理 2. 心理的アセスメントの観点及び展開 3. 心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査) 4. 適切な記録及び報告	2科目以上のうち履修数()可・否
		⑮心理学的支援法	1. 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界 2. 訪問による支援や地域支援の意義 3. 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法 4. プライバシーへの配慮 5. 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援 6. 心の健康教育	
		⑯心理演習	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)を行い、事例検討で取り上げる。(ア)心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得(1)コミュニケーション、(2)心理検査、(3)心理面接、(4)地域支援等(イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成(ウ)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ(エ)多職種連携及び地域連携(オ)公認心理師として	

<p>公認心理師及び人選に関する科目</p>		<p>⑮心理実習(80時間以上)</p>	<p>1. 実習生は、(※)に掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5つの分野の施設において、見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者又は教員による指導を受ける。具体的な施設についてはP19「法第7条第1号及び第2号に規定する大学及び大学院における必要な科目のうち実習を行う施設の候補」とおり。ただし、経過措置として当分の間は、医療機関(病院又は診療所)での実習を必須とし、医療機関以外の施設での実習について、 2. 実習を担当する教員は、実習生の実習状況について把握し、(※)に掲げる事項について基本的な水準の修得ができるように、実習生及び実習施設の指導者との連絡調整を密に行う。 (※)(ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ(イ) 多職種連携及び地域連携(ウ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解</p>		
<p>主な職域における心理学に関する科目(実践心理学)</p>	<p>IV(2科目以上)※⑮をVとして修める場合⑰～⑳</p>	<p>⑯健康・医療心理学 ⑰福祉心理学 ⑱教育・学校心理学 ⑲司法・犯罪心理学 ⑳産業・組織心理学</p>	<p>1. ストレスと心身の疾病との関係 2. 医療現場における心理社会的課題及 3. 保健活動が行われている現場における 4. 災害時等に必要心理に関する支援 1. 福祉現場において生じる問題及びその背景 2. 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援 3. 虐待についての基本的知識 1. 教育現場において生じる問題及びその背景 2. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援 1. 犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識 2. 司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援 1. 職場における問題(キャリア形成に関することを含む。)に対して必要な心理に関する支援 2. 組織における人の行動</p>		<p>2科目以上のうち履修数()可・否</p>
<p>心理学関連科目</p>	<p>V(1科目以上)※⑮可</p>	<p>㉑人体の構造と機能及び疾病 ㉒精神疾患とその治療</p>	<p>1. 心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害 2. がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病 1. 精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。) 2. 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 3. 医療機関との連携</p>		<p>1科目以上のうち履修数()可・否</p>
<p>公認心理師受験資格科目履修</p>					<p>可・否</p>

作成:医療法人社団至空会 <https://shinrishi.dada.or.jp/>
 ※科目読み替えにお使いください。ご自由にお使いください。どなたでもコピーフリーです。
 ver.201812